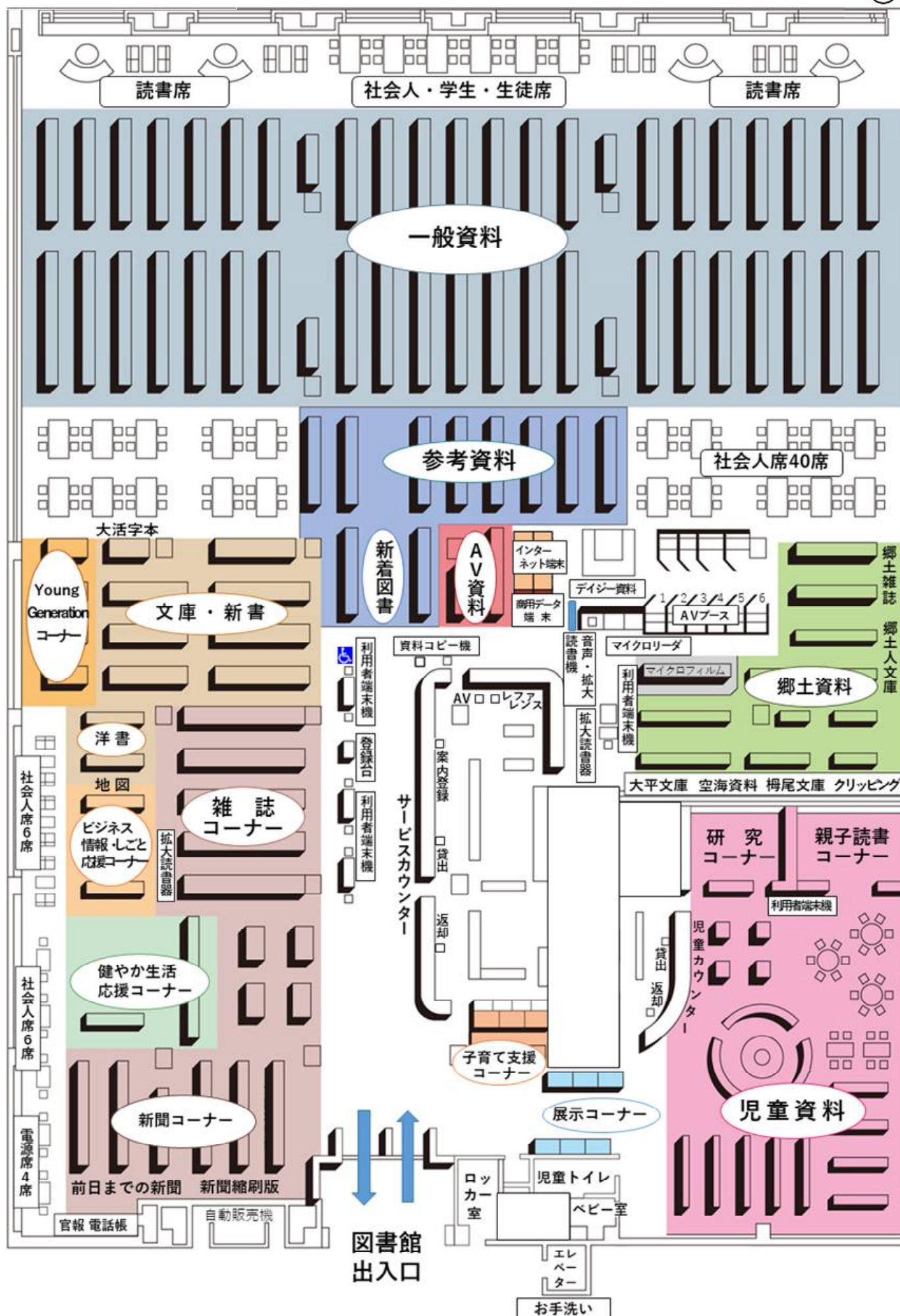




(2) 貸出・返却

- ①貸出冊数 図書・雑誌 1人10冊以内 AV資料 1人3点以内
- ②貸出期間 15日間
- ③返却方法
 - ・開館時は返却カウンター
 - ・閉館時は図書館入口左側にある「図書返却ポスト」(CD等を除く)
 - ・高松市以外の県内公共図書館や協力貸出を取扱う公民館等の窓口
(高松市内で返却できるのは県立図書館のみ)

(3) レファレンスサービス(参考調査)

県民が資料や情報を求めるときは、図書館の資料や機能を活用して、必要とされる資料の検索・提供・回答が得られるよう援助している。

質問は、口頭のほか、電話、文書、メールでも受け付けている。

寄せられたレファレンスの中から、調査研究の参考になるような事例をホームページで紹介している。また、国立国会図書館が全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館等と協同で構築しているレファレンスデータベースに登録している。

(4) 相互貸借

県民が求める資料を当館が所蔵していないときは、国立国会図書館をはじめ、他の公共図書館等との相互貸借により、県民に提供している。

(5) 子どもへの読書支援

①児童資料コーナー

乳幼児から小学生向きの絵本や童話、紙芝居など、子どもの多様な興味に応えるため、幅広い分野の資料を配架し、読み聞かせボランティア団体によるおはなし会や紙芝居会などを通して、読書活動の普及に取り組んでいる。

②人材育成

子どもの読書活動推進に取り組む人を支援するために、児童文学に関する研究書、読み聞かせ等の技術が学べる資料を充実させるとともに、その育成やスキルアップを目的とした講座を開催している。

③読書通帳

読んだ本を記録するための「読書通帳」を作成し、平成27年7月から配布している。また、平成27年10月から、「読書通帳」への記入が最後まで達成した児童・生徒を対象に「しおり」を進呈している。また、移転開館30周年を記念して、令和6年度には、読書通帳としおりのデザインを刷新した。

④団体貸出

子どもの読書環境の整備や充実、学習活動の支援などのため、団体等への貸出しを行っている。

▶児童資料団体貸出

5名以上で構成される子どもの読書活動推進を目的とするボランティア団体には30冊以内、利用する子どもが5名以上の文庫・学童保育及び保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校には100冊以内で1か月以内の貸出しを行う。

▶学校支援文庫「木守文庫」(小学校版・中学校版)

小・中学校や特別支援学校に対し、学習活動や読書活動、学校生活を支援するため、テーマごとにセットした図書(1セット20冊又は40冊)を1か月以内で貸出しを行う。

- ▶「香川の子どもたちに読んでほしい 100 冊」、「香川の子どもたちに贈る 100 冊」の貸出
香川県教育委員会が策定した「香川の子どもたちに読んでほしい 100 冊」及び「香川の子どもたちに贈る 100 冊」の中から小学校低学年・中学年・高学年及び中学生ごとにまとめてセットにして 1 か月以内に貸し出す。

(6) 中・高校生等への読書支援

平成 21 年 6 月に「ヤングアダルトコーナー」を拡充し、「Young Generation コーナー」を開設した。10 代（主に中・高校生）向きの図書約 7,000 冊を配架し、中・高校生の興味・関心のあるテーマのミニ展示を年 10 回程度行うなど、中・高校生が利用しやすい環境を整備している。

また、学校と連携した行事を開催するとともに、中学・高校での読書活動や探求の時間等での学習活動を支援するため、団体貸出を行うなど、読書活動の推進に取り組んでいる。

▶資料団体貸出

中学校、高等学校、特別支援学校に 30 冊以内で 1 か月以内の貸出しを行う。

(7) 県民の課題解決支援

①子育て支援事業

平成 19 年 6 月から「子育て支援コーナー」を設け、子育てに関する様々なジャンルの図書約 2,900 冊と雑誌 12 種を妊娠・出産・育児・しつけ・家庭教育など時系列順に分かりやすく分類して配架している。

また、子育てに役立つ各種パンフレット・イベントチラシなどをとりまとめて配布するほか、子育てに関する新聞記事の掲示や、子育てサークルの活動状況を写真などで紹介している。

さらに、年 4 回の企画展示や子育てに役立つ内容で「子育て支援講座」を開催している。

②健やか生活応援事業

平成 26 年 12 月から「健やか生活応援コーナー」を設け、健康・医療・介護や生きがいに関する資料約 6,000 冊を配架するとともに、パンフレット・啓発ポスターの掲示等や、話題のテーマや季節に合わせたミニ展示を年 6 回行っている。

また、関係機関と連携し、健康等に関する講座を開催している。

③ビジネス情報・しごと応援事業

平成 29 年 12 月から「ビジネス情報・しごと応援コーナー」を設け、ビジネスや仕事に役立つ幅広い分野の図書約 1,900 冊と雑誌 42 種を配架するとともに、専門機関の業務案内やセミナーなどのパンフレット・チラシを配布しているほか、ビジネスや仕事に役立つテーマのミニ展示を年 6 回行っている。

また、専用端末 2 台により、最新の情報を手軽に調べることができる商用データベース（4 種）が利用できる。

(8) 障害者サービス

①資料等の整備

視覚等の障害がある方に対して、大活字本の充実を図るほか、デージー資料（音声デージー、マルチメディアデージー）を整備するとともに、音声デージー再生機、拡大読書器、音声・拡大読書機を整備している。

②サピエ図書館の利用

（特非）全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するインターネット配信サービスのサピエ図書館に加入し、利用者の希望する音声デージーデータをダウンロードして提供している。

③郵送貸出

重度の心身障害や病氣療養中等により、直接来館することが困難な利用者に対して郵送による貸出を行っている。

④対面朗読

利用者からの依頼により、香川県視覚障害者福祉センターで活動している音訳ボランティアの協力を得て当館において対面での朗読を実施している。

(9) ICT（情報通信技術）の活用・整備

①ホームページ

蔵書検索のほか、資料の予約、新着図書の案内、最新の行事案内など、図書館サービスと連動した多様な情報提供を行っている。

また、電子メールによるレファレンスやご意見の受付・回答、ボランティアが作成した本県に関する県史、市町村史の目次情報などのテキストデータを公開する

「地域の本棚」のコーナーなど、図書館と利用者を双方向で結ぶサービスも展開している。

さらに、県内公共図書館では、8市7町（令和8年4月1日現在）がホームページを開設しており、当館ホームページの横断検索により県立図書館と県内公共図書館及び大学図書館等の所蔵資料を一度に検索することができる。

②デジタルライブラリー

江戸時代に作成された本県の古地図や古文書など、貴重な郷土資料をデジタル化し、平成26年12月から「四国遍路」、「空海」、「金比羅」、「その他讃岐（香川）の歴史」の4分野に分けてホームページで公開している。

③利用者用インターネット端末

情報提供サービスの一環として、利用者が行う調査、研究、教養等を支援するため、インターネット端末4台を設置している。

また、本端末で平成24年4月から国立国会図書館が配信する「歴史的音源」、平成26年4月からは「図書館向けデジタル化資料送信サービス」、令和3年3月からは「放送ライブラリー公開番組ストリーミングサービス」を提供している。

④利用者用商用データベース端末

専用端末2台を設置し、新聞・判例・ビジネス情報等の情報を検索できる商用データベース（4種）を提供している。

⑤Wi-Fi環境の整備

平成28年11月から利用者の利便性の向上を図るため、閲覧室内でWi-Fi（かがわWi-Fi）を無料で利用できる環境を整備し、令和8年3月には、KAGAWA-Wi-Fi2に切り替え、通信性能の向上を図った。

(10) 職場体験学習・見学等の受入れ

①職場体験学習

児童・生徒が図書館業務を体験する職場体験やインターンシップの受入れを行っている。

②見学・視察

図書館の施設や業務内容を知ってもらうため、学校等の団体を対象とした見学・視察の受入れを行っている。

(11) 資料の譲渡

①巡回文庫用図書の寄贈

図書の有効活用と読書活動の普及を図るため、県立学校や市町教育委員会、社会福祉施設等と呼びかけ、廃棄手続き済みの巡回文庫用図書を希望する施設等に寄贈している。

②不用新聞の譲渡

保存期間を経過した新聞の本紙を希望者に譲渡している。（年2回実施）

(12) 展示・広報等

①展示

閲覧室展示コーナーにおいて、企画展示や他機関と連携した展示を行うほか、各資料コーナーで県民の関心の高い話題やテーマ、時宜に応じたテーマで本の展示・紹介を行っている。

②広報誌の発行（館内で配布するほか、ホームページに掲載）

- ・香川県立図書館報「図書館かがわ」 年4回発行
- ・児童資料コーナー広報誌「こどものひろば」 毎月1日発行
- ・子育て支援コーナー広報誌「楽しく子育て！～香川県立図書館子育て支援コーナー通信～」 毎月19日（かがわ育児の日）発行

③関係機関での広報

- ・香川県産業頭脳化センターなど、関係機関において図書館の利用促進ポスターを掲示
- ・産業技術総合研究所四国センター等のイベントや研修において、利用促進のチラシを配布

2. 市町図書館等への支援

県立図書館と市町の図書館との役割分担、相互の連携協力を進め、市町の図書館、公民館等を拠点とする地域読書普及活動の援助を行っている。

(1) 巡回文庫

公立図書館が設置されていない町の公民館、学校等の公的機関及び30人以上で構成されている読書団体に対し、1町300冊以内を3か月間貸出する。

〔巡回文庫配本団体 2団体〕

- ・琴平町立榎井公民館
- ・直島町教育委員会

(2) 協力貸出

市町の図書館のほか、公立図書館が設置されていない町の公民館等に対し、協力貸出（相互貸借）を行う。

(3) 協力便

県立図書館と市町の図書館等の間で、週2回協力便を運行し、協力貸出資料などの搬送を行う。

3. 市町図書館等との連携

(1) 市町図書館等との連携

①横断検索システム

県立図書館と市町立図書館（8市7町31館）及び大学図書館等（5大学図書館等9館）の所蔵資料が一度に検索できる。

②香川県図書館協会

県内の公共図書館の相互の連携を図り、図書館の運営に関する情報交換や調査研究等を行い、図書館の発展に寄与することを目的としている。

(2) 香川大学図書館との連携

相互の連携による生涯学習支援及び図書館利用の利便性の向上を通して、両館利用者の学習、教育、研究活動への進展に寄与するため、平成22年3月に「香川大学図書館と香川県立図書館の相互協力に関する協定」を締結した。

図書館資料の相互貸借やレファレンスの協力、講演会・展示会の共催などを行っている。

4. 資料の整備充実

(1) 収集

香川県立図書館資料収集方針及び香川県立図書館部門別資料収集基準により資料を収集し、蔵書の充実を図る。

(2) 整理

一般資料は原則として、日本十進分類法（NDC）新訂 10 版を使用し、第 4 桁（一部は第 5 桁）まで分類している。

郷土資料は、NDC 新訂 6 版に基づいて分類している。また、本県出身及び在住者の著作物等いわゆる郷土人文庫については、日本著者記号表と NDC を併用して分類している。

児童書は、NDC 小中学校（児童書適用表）によって分類している。ただし、絵本の分類記号は『J』を使用している。

巡回文庫用図書は、一般図書・児童書とも 50 冊を 1 セットとして整備している。また、図書に関するデータは、セット番号別に整理している。

AV 資料は、香川県立図書館 AV 資料分類表によって分類している。

(3) 新聞のクリッピング

昭和 50 年から地元紙「四国新聞」の本県や本県出身の人物・団体に関する記事、県内出版情報等を切り抜き整理している。現在、この作業はボランティアの協力を得て行っている。

5. 図書館評価

(1) 趣旨

平成 29 年度から図書館運営の改善とサービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について「図書館評価」を行っている。

(2) 評価の概要

①評価項目

毎年度、基本方針・重点目標を定め、これに基づいて図書館評価指標及び数値目標を設定する。

②評価方法等

自己評価（年度終了後、数値目標の達成状況により、自己評価）

外部評価（年度終了後、香川県立図書館協議会による外部評価）

利用者アンケート（年 1 回、来館者の満足度等を把握）

③評価の公表

評価の結果は、館内掲示及び図書館ホームページで公表する。

香川県立図書館資料収集方針

1 目的

この方針は、香川県立図書館として、幅広い県民の要求に応えるため、資料収集の基本的事項を定めることを目的とする。

2 基本方針

- (1) 県民の教養、調査研究、レクリエーション等に必要とされる資料を幅広く収集する。
- (2) 県内市町立図書館等を支援するために必要な資料を収集する。
- (3) 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会 1954 年採択、1979 年改訂）の精神を尊重し、公平かつ偏りなく収集する。

3 収集する資料

- (1) 資料の種類は、図書、新聞、雑誌、ＡＶ資料及びその他必要な資料とする。
- (2) 資料の範囲は、主として明治期以降に刊行されたものとする。
- (3) 資料は、次の各部門別に収集するものとする。なお、詳細については、香川県立図書館部門別資料収集基準に定める。
 - ① 一般資料部門
各分野にわたり様々な観点から幅広く体系的に収集する。特に調査研究に必要な資料の収集に努める。
 - ② 郷土資料部門
郷土の文化を承継し保存していくため、郷土資料を積極的に収集する。
 - ③ 児童資料部門
子どもの読書習慣を培い、知識、創造力を豊かにするために必要な児童資料を収集する。
 - ④ ＡＶ資料部門
文字では伝達が困難な情報を提供するとともに、活字資料の機能を補完するために必要なＡＶ資料を収集する。また、障害のある人が利用できる資料を収集する。
 - ⑤ 巡回文庫部門
公立図書館が設置されていない自治体の読書普及活動を援助するために必要な資料を収集する。
 - ⑥ 学校支援文庫
学校における子どもの読書活動や学習活動、学校生活を支援するために必要な資料を収集する。

4 収集の方法

収集の方法は、購入、寄贈、再用、生産、区分変更、保管換等とする。

5 資料の選定

資料の選定は、原則として資料選定委員会で行う。なお、詳細については、香川県立図書館資料選定委員会規程に定める。

6 資料の保存と廃棄

- (1) 県の中核図書館として、資料の保存に努める。
- (2) 資料の廃棄は、資料保存の機能を考慮して慎重に行う。なお、詳細については、香川県立図書館資料廃棄要綱に定める。

附 則

- 1 この方針は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 香川県立図書館資料収集方針（昭和 60 年 8 月 5 日施行）は、廃止する。

附 則

この方針は、平成 26 年 11 月 27 日から施行する。

附 則

この方針は、平成 30 年 10 月 1 日から施行する。

6. 令和8年度行事予定

区 分	時	内 容	場 所	予定人員
こ 読 書 ま つ り	4月25日(土)	アクアドームをつくろう！	視 聴 覚 ホ ー ル	13組
		としょかんの木かんさつツアー	研 修 室／図 書 館 の 庭	5組
	5月10日(日)	夏にむけて「みどりのカーテン」をつくろう！	視 聴 覚 ホ ー ル	20組
図 書 館 コ ン サ ー ト	6月28日(日)	クラリネット・アンサンブル「ピアチェーレ」によるクラリネットコンサート	視 聴 覚 ホ ー ル	180
	7月11日(土)	子どものためのとしょかんコンサート	視 聴 覚 ホ ー ル	180
	2月頃	「香川プラスチェンバー」によるコンサート	視 聴 覚 ホ ー ル	180
子 育 て 支 援 講 座	未定	子育てに役立つテーマで開催	研 修 室	15
中・高校生等への 読 書 支 援	8月3日(月)	高校生のための1日司書体験	研 修 室 修 覧 室	18
	12月頃	図書館であそぼ！	研 修 室	5
	生徒の長期 休業期間中	辞書人狼	閱 覧 室	—
	読書週間期間中	謎解きイベント	閱 覧 室	—
	常時受付	高校生のための司書への職業インタビュー 進路学習や探究学習に活用できる職業インタビュー	研 修 室 修 覧 室	—
健 や か 生 活 応 援 講 座	未定	「健康・生きがい」をテーマに講座を開催	研 修 室	30
図 書 館 探 検	10月～11月頃	普段入ることができない閉架書庫の見学、書庫に 所蔵されている資料や図書館の紹介など	閉 架 書 庫 研 修 室	10組
本との出会いのた めの人材育成事業	未定	公共図書館、学校図書館の教職員およびボラン ティアを対象に、子どもの読書活動を支える人材 の育成を図る講座を開催	視 聴 覚 ホ ー ル	80
こ ども 図 書 館 船 連 携 事 業	4月30日(木) ほか7回程度	県内公共図書館等と連携しワークショップ等を開 催	県 内 各 港 等	—
	5月～2月 計17回	県内公共図書館等において、「ほんのもり号文庫 巡回展示」を実施	県内公共図書館等	—
ボ ラ ン テ ィ ア に よ る 活 動	年8回 (第1火曜日)	こうさぎおはなし会 おはなし紡ぎの会による乳児から5歳くらいまで の子どもと保護者を対象としたわらべうた、絵本 の読み聞かせ	親 子 読 書 コ ナ	各回30
	毎月1回 (第4火曜日)	えいごあそび えいごであそぼによる英語絵本の読み聞かせや手 遊び、アクティビティなど		
	毎月1回 (第2水曜日)	いちご いちごによる絵本の読み聞かせ、紙しばい、手遊 びなど		
	毎月1回 (第2土曜日)	おおばこおはなし会 図書館ボランティア「おおばこ」による絵本の 読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、手遊びな ど		
	年6回 (奇数月 第3土曜日)	「おはなし紡ぎの会」によるおはなし会 おはなし紡ぎの会によるストーリーテリング、絵本 の読み聞かせ、わらべうたなど		
	毎月1回 (第4土曜日)	わくわくかみしばい会 まいまい塾ネットワークによる紙芝居の上演		
	毎月1回 (第1日曜日)	さぬきおはなし会 さぬき語りの会によるストーリーテリングなど		

区 分	日 時	内 容	場 所	予定人員
ボ ラ ン テ ィ ア に よ る 活 動	6月17日(水) 10月20日(火) 1月30日(金)	さぬき語りの会 大人のためのおはなし会	研 修 室	各回30
	7月14日(火) 2月20日(土)	おはなし紡ぎの会 大人のためのおはなし会		
研 修 会 (主 催：香 川 県 図 書 館 協 会)	6月24日(水) 〃 6月26日(金)	香川県図書館職員研修会(初任者研修)	研 修 室	20
	1月頃	香川県図書館職員研修会(専門研修)	研 修 室	30
実 務 担 当 者 会 (主 催：香 川 県 図 書 館 協 会)	5月22日(金) 2月頃	香川県図書館協会実務担当者会(年2回開催)	第1回：研修室	18
			第2回：オンライン	20
研 修 会 (主 催：文 部 科 学 省・ 香 川 県 教 育 委 員 会)	12月8日(火) 〃 12月11日(金)	中国・四国地区図書館地区別研修	視聴覚ホール	100

7. 令和8年度展示予定

区 分	期 間		場 所
企 画 展 示 等	4月14日(火) 〃 5月31日(日)	児童資料企画展示「松谷みよ子生誕100周年」	展 示 コ ー ナ ー
	6月6日(土) 〃 7月5日(日)	さぬき動物愛護センター企画展示 大切な家族のために～	
	7月7日(火) 〃 8月2日(日)	せとうち讃岐ジオパーク構想企画展	
	8月4日(火) 〃 8月30日(日)	五色台少年自然センター企画展示	
	9月1日(火) 〃 9月27日(日)	香川大学企画展示「うみとほんのあいだ-海と本、 科学と芸術、その“あいだ”にある世界を探る」(仮)	
	10月 〃 令和9年3月	未定	
イ ベ ン ト 関 連 本 展 示	年 間	イベントや時宜にあったテーマで展示を行う。	新 着 図 書
子 育 て 支 援 コ ー ナ ー 展 示	年 間	子育てに関する様々なテーマで企画展示を行う。 年4回開催予定。	子 育 て 支 援 コ ー ナ ー
健 や か 生 活 応 援 コ ー ナ ー 展 示	年 間	「医療・健康・介護・生きがい」のジャンルからテーマを 選んでミニ展示を行う。年6回開催予定。	健 や か 生 活 応 援 コ ー ナ ー
ビ ジ ネ ス 情 報 し ゴ と 応 援 コ ー ナ ー ミ ニ 展 示	年 間	ビジネスや仕事に関連するテーマでミニ展示を行う。 年6回開催予定。	ビ ジ ネ ス 情 報 し ゴ と 応 援 コ ー ナ ー
ヤング ジェネレーション Young Generation コーナーミニ展示	年 間	中・高校生の興味・関心のある、季節や時事にあった テーマでミニ展示を行う。年10回程度開催予定。	Young Generation コ ー ナ ー
児 童 資 料 コ ー ナ ー 今 月 の 本	年 間	毎月のテーマを決めて「今月の本」を紹介する。	児 童 資 料 コ ー ナ ー
な つ か し の バ ッ ク ナ ン バ ー	年 間	ふだんは書庫で保存している雑誌のバックナンバー (過去の雑誌)を紹介する。	雑 誌 コ ー ナ ー

1. 利用状況

(1) 基礎統計

開館日数	入館者数	個人貸出		児童団体貸出		資料団体貸出		巡回文庫配本		学校支援文庫	
		登録者数	貸出冊数	団体数	貸出冊数	団体数	貸出冊数	団体数	貸出冊数	団体数	貸出冊数
日	人	人	冊	団体	冊	団体	冊	団体	冊	団体	冊
298	422,583	232,255	733,471	64	3,727	2	18	2	2,393	120	4,620
(295)	(401,170)	(229,146)	(721,534)	(58)	(3,283)	(2)	(19)	(2)	(2,397)	(125)	(4,860)

() 内は令和6年度の数値。

(2) 館外個人貸出冊数の推移

(単位：冊)

区分 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総記	5,441	4,974	4,205	4,459	5,229
哲学	20,894	20,081	18,286	18,268	19,273
歴史	22,605	22,196	21,757	22,232	24,151
社会	66,188	60,259	54,787	52,670	53,283
自然	45,866	42,577	38,712	37,712	40,006
技術	54,051	51,284	48,674	46,495	49,204
産業	18,816	16,871	15,038	14,447	14,296
芸術	32,943	29,743	27,574	27,890	28,189
語学	6,509	6,103	5,745	5,731	5,870
文学	104,547	101,744	96,037	98,207	104,875
文庫	54,782	47,831	44,359	40,841	42,297
洋書	794	556	548	520	365
その他	410	201	102	184	202
郷土	9,463	8,566	7,908	7,778	8,408
児童	360,325	340,325	311,586	299,614	292,365
雑誌	43,436	39,339	37,154	35,701	37,001
A V	10,608	10,011	9,520	8,785	8,457
うちデイジー	23	39	57	57	39
合計	857,678	802,661	741,992	721,534	733,471

(3) 個人貸出登録者数

(単位：人)

令和6年度末 登録者数	令和7年度 登録者数	令和7年度 登録抹消者数	令和7年度末 登録者数
229,146	3,166	57	232,255

令和7年度末登録者年齢別内訳					
0～12歳	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	計
5,426	7,115	54,207	92,939	72,568	232,255

(4) 参考調査利用件数

(単位：件)

調査内容		所蔵調査	事実調査	文献調査	計
申込処理					
口	頭	124	86	462	672
電	話	94	47	194	335
文	書	6	4	65	75
メ	ー	6	8	110	124
小	計	230	145	831	1,206
クイック・レファレンスサービス		17,373	83	1,101	18,557
合	計	17,603	228	1,932	19,763

(5) 相互貸借件数等

(6) AVブース等利用件数

(単位：件)

	貸借先図書館等	借受		貸出	
		件	冊	件	冊
県内	市町立図書館	388	592	1,608	5,844
	公民館等	0	0	16	29
	香川大学	41	70	39	120
	その他	0	0	0	0
	小計	429	662	1,663	5,993
県外	国立国会図書館	0	0	0	0
	都道府県指定館	26	49	77	109
	市区町村立図書館	9	17	225	403
	国公私立大学	1	3	9	11
	その他	0	0	0	0
	小計	36	69	311	523
計		465	731	1,974	6,516
合計		2,439 件		7,247 冊	

音声ブース	63
映像ブース	1,591
インターネット端末	1,903
(うち、国立国会デジタル)	(64)
(うち、商用データベース)	(97)
(うち、放送ライブラリー)	(0)
計	3,557

(7) インターネット検索件数

(単位：件)

2,101,503

(8) 返却ポスト・他館返却件数

(単位：冊)

返却ポスト	55,301
他館返却	4,837

2. 資料整備状況

(1) 令和7年度増加冊数及び年度末蔵書冊数

分 類	項 目	令和6年度末 蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	再用・生産区 分変更	保管換	除籍冊数	合 計	令和7年度末 蔵書冊数
0	総 記	37,880	271	75	1	64	13	398	38,278
1	哲 学	40,436	401	26	5	0	4	428	40,864
2	歴 史	86,523	766	437	5	0	1	1,207	87,730
3	社 会	177,921	2,103	271	5	23	10	2,392	180,313
4	自 然	64,209	998	57	6	0	4	1,057	65,266
5	技 術	65,879	880	135	4	0	1	1,018	66,897
6	産 業	40,716	419	82	4	0	2	503	41,219
7	芸 術	70,447	657	191	13	0	3	858	71,305
8	語 学	14,804	186	13	1	0	1	199	15,003
9	文 学	131,762	1,421	246	11	11	86	1,603	133,365
	文 庫	44,176	238	29	11	0	50	228	44,404
	洋 書	14,949	15	18	0	0	1	32	14,981
	二 山*	3,419	0	0	0	0	0	0	3,419
	津 島*	509	0	0	0	0	0	0	509
	拇 尾*	2,876	0	0	0	0	0	0	2,876
	大 平*	8,647	0	5	0	0	0	5	8,652
	そ の 他	6,337	0	0	0	0	0	0	6,337
	楽 譜	154	0	0	0	0	0	0	154
	郷 土	136,640	389	1,816	71	83	1	2,358	138,998
	児 童	152,828	2,211	116	19	0	228	2,118	154,946
	紙 芝 居	3,769	54	0	0	0	0	54	3,823
	A V (マイクロフィルム)	5,060	2	0	0	0	0	2	5,062
	〃 (C D)	10,310	30	6	2	0	2	36	10,346
	〃 (音声データ)	319	0	11	32	0	0	43	362
	〃 (マルチメディアデータ)	419	20	4	0	0	0	24	443
	〃 (その他)	10,238	3	6	6	0	1	14	10,252
	巡 回 文 庫	6,884	258	48	0	0	1,592	△ 1,286	5,598
	学校支援文庫*	7,235	0	446	5	0	161	290	7,525
	合 計	1,145,346	11,322	4,038	201	181	2,161	13,581	1,158,927

* 寄贈資料による文庫

(2) 新聞(購入紙及び主な寄贈紙)

令和8年6月1日現在

新 聞 名			所 蔵 期 間		新 聞 名		所 蔵 期 間											
朝 日 新 聞	本 紙	前1年間	建 通 新 聞 香 川	本 紙 (火・金発行)	昭和57. 5～57. 11 (一部欠あり) 平成 9. 4～													
	縮刷版	昭和17. 1～																
	大阪版マイクロ	明治12. 1～平成31. 4																
	本 紙 (香川版)	昭和52. 1～																
毎 日 新 聞	香川版マイクロ	大正 4. 10～昭和20. 3 昭和22. 1～令和 6. 12	山 陽 新 聞	本 紙 本 紙 (香川版)	前3年間 昭和53. 1～ ～平成23. 11 (一部欠あり)													
	本 紙	前1年間																
	〃	昭和20. 9～24. 12																
	縮刷版	昭和25. 1～																
読 売 新 聞	本 紙 (香川版)	昭和45. 8～	愛媛新聞		前3年間													
	本 紙	前1年間 昭和24. 12～50. 12	高知新聞		〃													
			徳島新聞		〃													
			スポーツニッポン		〃													
人民日報			〃															
日 本 経 済 新 聞	本 紙 (香川版)	昭和51. 2～	The Japan Times/ International New York Times		〃													
	本 紙	前1年間																
	縮刷版	昭和24. 4～ (一部欠あり)																
	本 紙 (四国版)	昭和38. 1～																
産 経 新 聞	本 紙	昭和58. 6～ (一部欠あり)	The New York Times		〃													
			しんぶん赤旗		前1年間													
			聖教新聞		〃													
			日本農業新聞		〃													
日 刊 工 業 新 聞	本 紙 縮刷版	前3年間 昭和47. 1～ ～平成24. 3 (平成15. 4～24. 3は CD-ROM)	福島民報		〃													
			福島民友		〃													
				四 国 新 聞	本 紙	平成22. 1～												
							(愛媛新聞)マイクロ	明治 9. 9～10. 4										
(海南新聞)マイクロ	明治10. 5～21. 12 (一部欠あり)																	
		(予讃新報)マイクロ	明治21. 10～22. 2															
									(愛媛新報)マイクロ	明治22. 2～22. 5								
											(香川新報)マイクロ	明治22. 4 ～昭和16. 2						
													(香川日々)マイクロ	昭和16. 3～16. 4				
				マイクロ	昭和 5. 6～16. 3													
						四 国 民 報												
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
							四 国 民 報											
								四 国 民 報										
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		
	四 国 民 報																	
		四 国 民 報																
			四 国 民 報															
						四 国 民 報												
							四 国 民 報											
				四 国 民 報														
					四 国 民 報													
四 国 民 報																		

(3) 雑 誌

	購 入 種 数	寄贈等種数	合 計	備 考
累 計 受 入 種 数	617	3,091	3,708	外国雑誌29種（英3、米18、仏3、独2、伊1、中1、韓1）を含む。
うち、令和7年度 受 入 種 数	314	805	1,119	外国雑誌15種（英1、米10、独1、仏1、伊1、韓1）を含む。

(4) データベース

令和8年4月1日現在

D 1 - Law. com（第一法規 法情報総合データベース）、日経テレコン、朝日新聞クロスサーチ、
官報情報検索サービス

(5) 官報、県報等

資料の種類	所 蔵 内 容
官 報	明治16. 7 ～昭和43. 12（マイクロフィルム・欠号あり） 明治31. 8 ～（本紙・欠号あり）
官 報 資 料 版	昭和28. 7 ～平成19. 3
香川縣公文月報	明治23. 1 ～大正 8. 12（マイクロフィルム明治23. 1～大正 8. 12）
香 川 縣 報	大正 9. 4 ～（マイクロフィルム大正 9. 4～昭和25. 12）
衆 議 院 議 事 速 記 録	昭和22. 2 ～22. 3（第92回帝国議会）
貴 族 院 議 事 速 記 録	昭和22. 2 ～22. 3（第92回帝国議会）
衆 議 院 会 議 録	昭和22. 5（第1回国会）～
参 議 院 会 議 録	昭和22. 5（第1回国会）～（欠号あり）

(6) コレクション

①空海資料

空 海 資 料	平成6年の新館開館を機に、香川県が生んだ偉大な思想家・宗教家である空海に関する資料を重点的に収集している。資料は、空海の著作だけでなく、伝記、美術、教理・事相、民間信仰などの13のテーマを中心に収集しており、現在、約5,800冊を所蔵している。
---------	--

②文庫

文 庫 名	内 容
に ざん 二 山 文 庫	坂出市高屋町の故三野二山氏所蔵の漢籍190部1,750冊及び国書451部1,187冊を昭和46年に息子守亮氏から寄贈されたもの。漢詩が主となっている。その後の寄贈により、現在、814部3,419冊（漢籍240部2,021冊及び国書574部1,398冊）を所蔵している。
つ しま 津 島 洋 書 文 庫	元蔵相、故津島寿一氏所蔵の洋書509冊を昭和51年に綾子夫人から寄贈されたもの。氏が昭和2年から9年にかけて、英仏駐在財務官として活躍されていた当時、任地で購入されたものも多く含まれる。政治・経済の各分野にわたる図書が中心であるが、趣味に関するものや読み物なども多く見られる。
と が の お 梅 尾 文 庫	故梅尾祥瑞氏（元高野山大学教授、ボストン美術館図書館長）の蔵書2,613冊を平成5年に登喜子夫人から寄贈されたもの。父故祥雲氏（元高野山大学長）の蔵書を核にして、息子祥瑞氏が発展させた真言密教をはじめとする幅広い宗教学とマンダラを中心とした仏教芸術学や語学がある。その後の寄贈により、現在、2,876冊を所蔵している。
お お ひ ら 大 平 文 庫	大平正芳記念館（観音寺市、平成27年3月閉館）に所蔵していた、元内閣総理大臣、大平正芳氏の蔵書や氏の著作、研究書、大平正芳記念賞受賞作品など8,593冊を平成27年に公益財団法人大平正芳記念財団から寄贈されたもの。読書家で文筆家として知られた大平氏の蔵書は、政治・経済だけにとどまらず、哲学・歴史・文学など多岐にわたっている。 大平正芳記念賞受賞作品は、現在も財団から毎年寄贈されている。